

1. ≪法人ビジョン≫
 - ①経営の強化
 - ②サービスの質の向上
 - ③教育システムの充実

2. ≪ビジョン≫
 - ①よりよい環境づくり
 - ②誰からも愛される兵庫保育園
 - ③保育者の人間力、保育力の向上

3. ≪基本方針≫
 - ①安全を第一に考え、子どもが安心して元気に活動できるよう工夫する。
 - ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。

4. ≪中長期計画≫
 - ①改修工事、備品の整備を行う。
 - 神戸市の補助を受け、大規模修繕を行った。また、民間移管の補助金で、備品、遊具などを購入した。
 - ②子ども、保護者により近い、地域と共に歩む。
 - 一人一人の子ども、保護者との信頼関係を深めるよう、また、地域の方々に親しみをもってもらえるよう全職員で取り組んだ。
 - ③楽しみながら身につくよう教育を行う。
 - 専門の講師に依頼し、指導してもらっている。
 - ④研修の充実を図る。
 - 園内外での研修の機会をもち、受講したものは、伝達し合い知識を共有する。

5. ≪平成25年度計画≫
 - ①大規模修繕の申請を行う。
 - 平成25年度中に終了。
 - ②子どもや保護者、地域との信頼関係が保てるよう積極的に関わる。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、保護者と職員との交流を深めるようにした。
 - ・本園ホームページの更新を行った。
 - スマートフォン対応については、今後の課題。
 - ・地域の施設・学校・関係者に園だより等を配布した。今後も件数を増やしていく。
 - ・湊川公園への避難訓練時、腕章をつけて、地域の方に知っていただくようにした。
 - ・園庭開放や「ひょうごっこひろば」を開催し、保育園を知ってもらうようにした。
 - ・園庭開放ポスター・チラシを病院等に掲示、配布した。
 - ③子どもが楽しんで取り組み、総合的に成長を促す。
 - ・夏期にスイミングスクールコーチによるプール指導を受けている。
 - ・幼児体育講師により月1回運動遊び指導を受け、体力向上や社会性を身につけられるよ

うにしている。

- ・書道家により文字の指導を受け、文字に対する興味や関心をもつようにしている。

④職場内、職場外研修を行い、全職員で共通理解をする。

- ・職員の資質向上のため職員会議で、研修・研修報告・ブレインストーミングを行う。
- ・9月27日 音の出るおもちゃの製作と遊び方 澤村茂春氏
- ・11月23日 大慈と合同研修 AM メンタルヘルス A I U保険会社 相田彩子氏
PM 体育遊び (株)エール 居関達彦氏
- ・3月3日 音楽遊び 神田 みゆき氏

6. <<新規事業計画>>

ニーズに対応するため一時保育を始めた。

7. <<行事計画>>

※年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	親子のつどい
6月	食育フェア お楽しみ会 交通安全教室 歯みがき指導 大慈保育園交流 (5歳児)
7月	全園児プール開き 七夕祭り 夏祭り プラネタリウム (5歳児)
8月	プール参観 スイミングスクール 小学校プール お年寄りとの交流会
10月	運動会 お泊り保育 (5歳児) 秋の遠足 (全園児) お楽しみ会
11月	焼きいも大会 参観ウィーク 消火・避難訓練
12月	ドレミコンサート クリスマス会 おもちつき
1月	よい子のつどい
2月	豆まき 生活発表会
3月	おひな祭り 防犯訓練 お別れ遠足 (全園児) お別れ会 卒園式

※月間行事 (月1回)

- ・誕生日会
- ・運動遊び
- ・書道教室

8. <<災害・防犯避難訓練>>

- ・全園児避難訓練 (火災・地震・津波を含む) …月1回実施した。
- ・消防士の指導による避難訓練と消火訓練 …年1回実施した。
- ・防犯訓練 (警察の方による、不審者侵入による防犯訓練) …年1回実施した。
(保育士が不審者になり、園全体で防犯訓練) …年2回実施した。
- ・消火器 火災報知機の点検を年2回行った。
- ・消防署に避難訓練報告を年2回行った。

9. <<保健衛生計画>>

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児5月・11月 年2回 職員年1回
園児歯科健診	6月・11月 年2回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	6月・2月 年2回
園児身体測定	月1回
園児検尿・ぎょう虫検査	兵庫県予防医学協会により年1回
調理員・保育士全員検便	(株) アリケンにより月1回以上
調理室の消毒	サニックスにより月1回
グリストラップ清掃	乾商事により年5回

10. <<在籍児一覧表>>

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	8	18	18	20	18	19	101	112%
5月	8	18	18	20	19	19	102	113%
6月	8	18	18	20	19	19	102	113%
7月	8	18	18	20	19	20	103	114%
8月	8	18	18	20	19	20	103	114%
9月	8	18	18	20	18	20	102	112%
10月	8	18	18	20	18	19	102	112%
11月	8	18	18	20	18	19	101	112%
12月	9	18	16	20	19	20	101	112%
1月	9	18	18	20	19	20	104	116%
2月	9	17	18	19	19	20	102	113%
3月	9	17	18	19	19	20	102	113%
合計	100	214	214	238	224	235	1225	113%

11. <<リスクマネジメント報告>>

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

※医師、看護師が常駐していないため、診察を受け医師の判断を仰いだ。

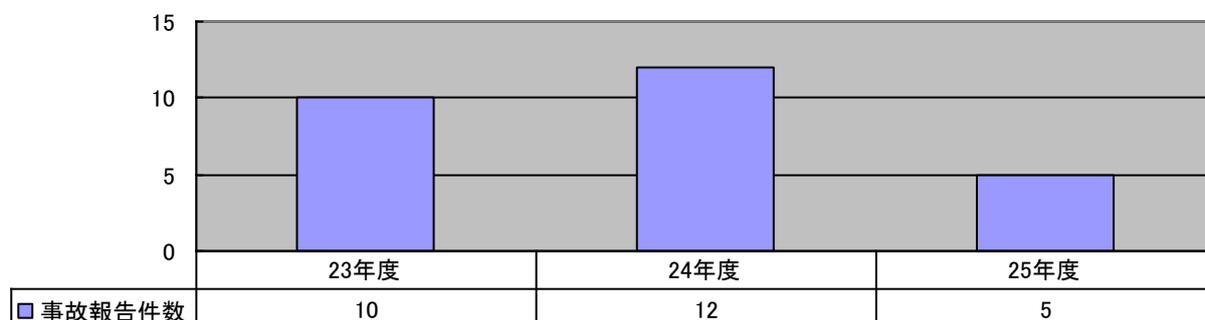
平成25年度					平成24年度				
報告 件数	合計件数	事故	ドキ ドキ	処置	報告 件数	合計件数	事故	ドキ ドキ	処置
	723件	5件	467件	251件		509件	12件	269件	228件

23年度1,141件（事故10件、ドキドキ903件）

※救急箱の用品を使った際に記入する救急箱用紙の集計も行っている。

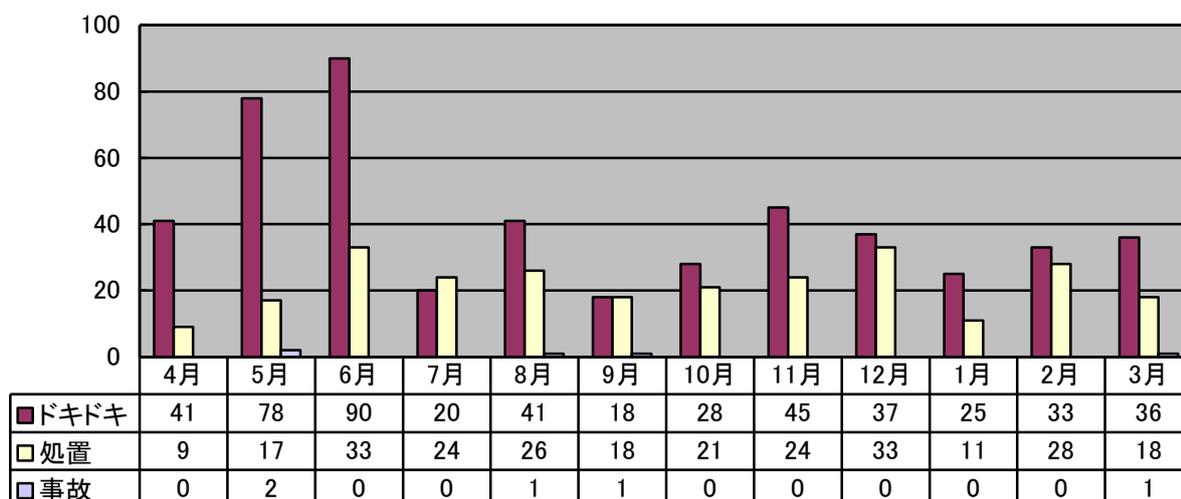
ドキドキの事故用とは異なり、一人で怪我をした際や園以外でケガをした箇所の手当て（例：絆創膏の張り替え、虫さされ、さかむけ等）を記入する。これらも全て処置に含まれるので、ドキドキの件数より処置の件数が多くなる場合がある。

①年度別発生件数



②月別発生件数

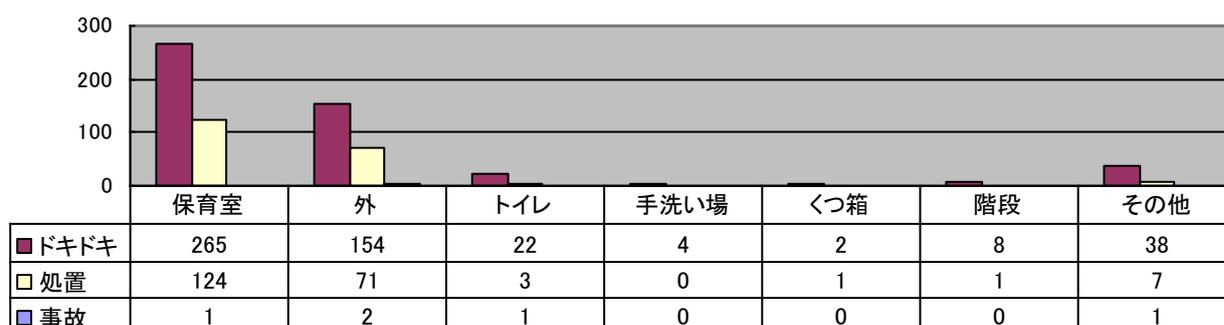
→4月から6月は、新しい環境に変わったこともあり子どもの情緒も安定していないことや保育士間の連携も十分でなかったため、ドキドキも処置も多かったと考えられる。



③発生場所別件数

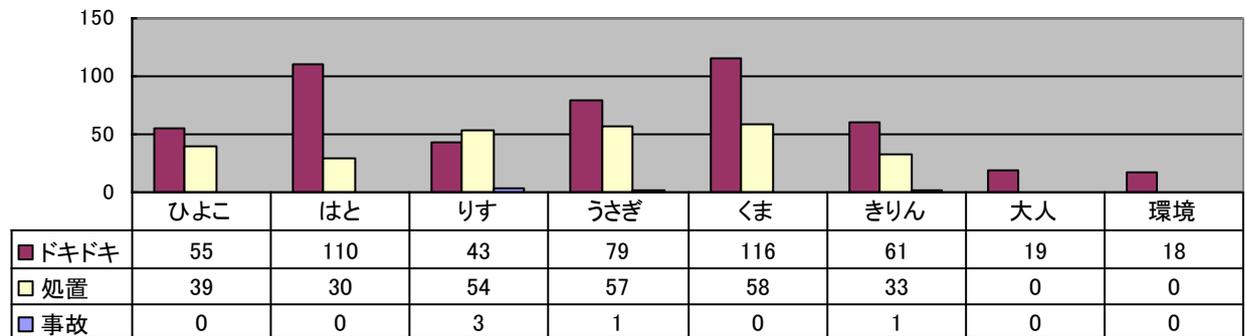
→保育をする時間が長い場所が多くあがっている。

→その他では、テラスが多くあがっている。登園途中や園外保育中もあがっている。



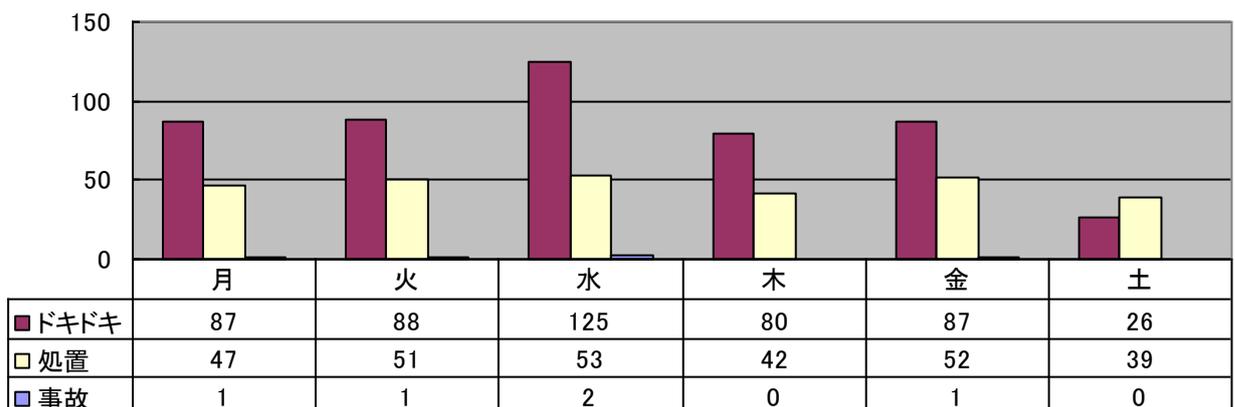
④発生クラス別件数

- 1歳児クラスは、子ども同士のトラブルによるドキドキが多くあがっていた。
- 2歳児クラスの処置の件数が多いのは、虫さされの薬を塗ったり、さかむけで絆創膏を使う等の救急箱の用品を使う処置が多かったと考えられる。
- 4歳児クラスは特定の子どものドキドキが多くあった。



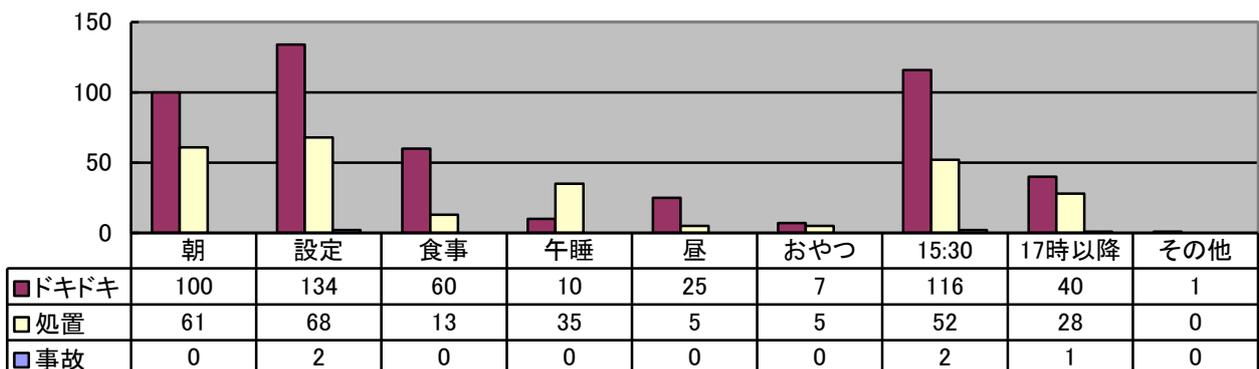
⑤曜日別件数

- 週の半ば、水曜になると、子ども同士の活動が活発になり、ドキドキする行動が増すことや怪我につながるが多いと考えられる。
- 土曜日は、異年齢児との関わりが多く、怪我が多かったと考えられる。



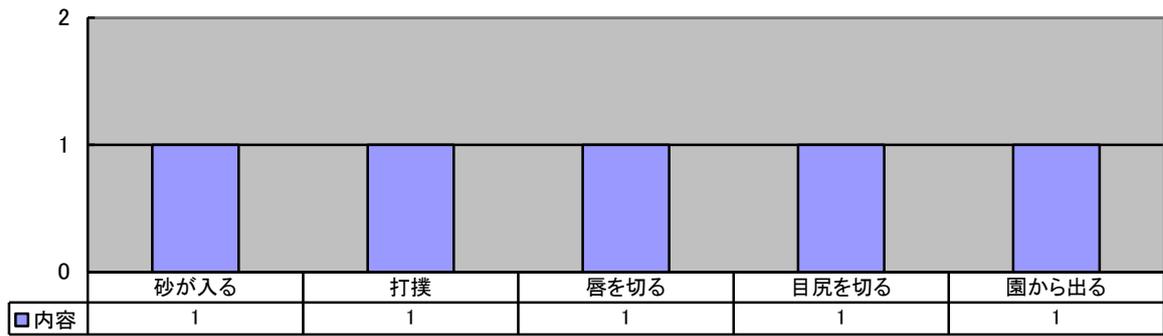
⑥時間帯別件数

- 設定時間は子どもの活動が活発であるため、また朝や15:30以降は、異年齢児の関わりが多い時間帯であるため、危険が高まると考えられる。
- 虫さされやさかむけの発見が午睡の時間帯に多かったため、処置が多くなったと考えられる。



⑦事故発生内容

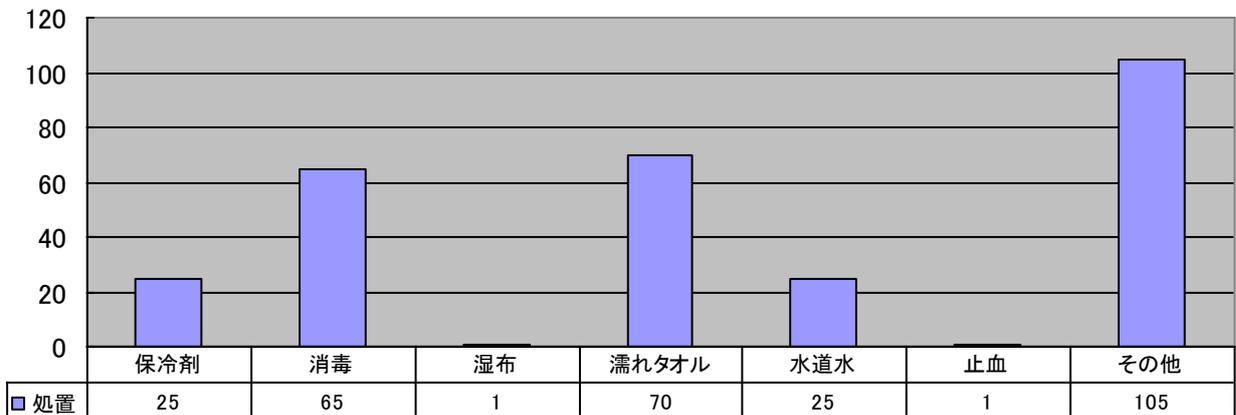
→5件のうち相手のいる事故が1件（目に砂が入る）だった。



⑧対応別件数

→引っ掻きや転倒による打撲の怪我が多かったため、濡れタオルの対応が多かったと考えられる。

→その他は、さかむけやすり傷による絆創膏の使用などが多かった。



⑨まとめ

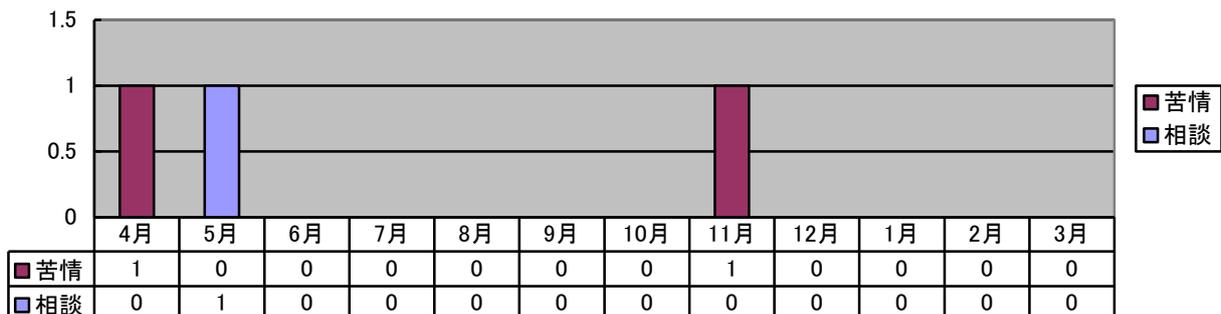
処置の件数に比べてドキドキの件数が少ない。

徹底して報告していき、個人の姿、対応を全職員が把握していくことで少しでもドキドキや新たな事故や怪我の発生を防ぐことができるのではないかと考えられる。

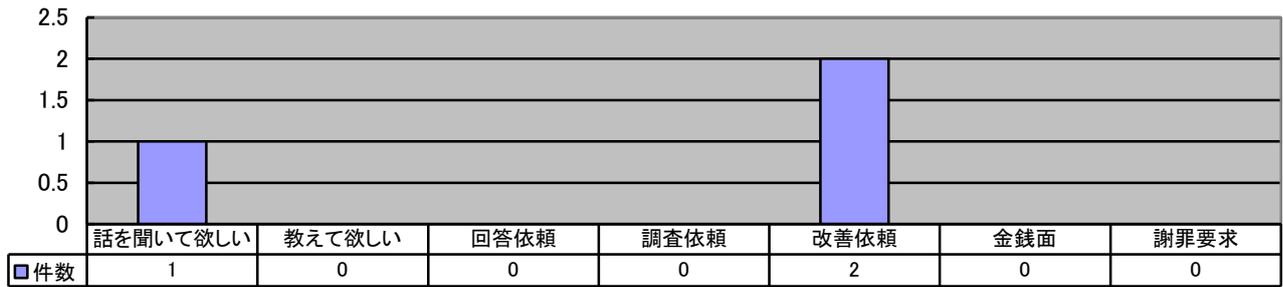
1.2. << 苦情・相談結果報告 >>

苦情の定義→園長が直接対応した件を苦情とする。

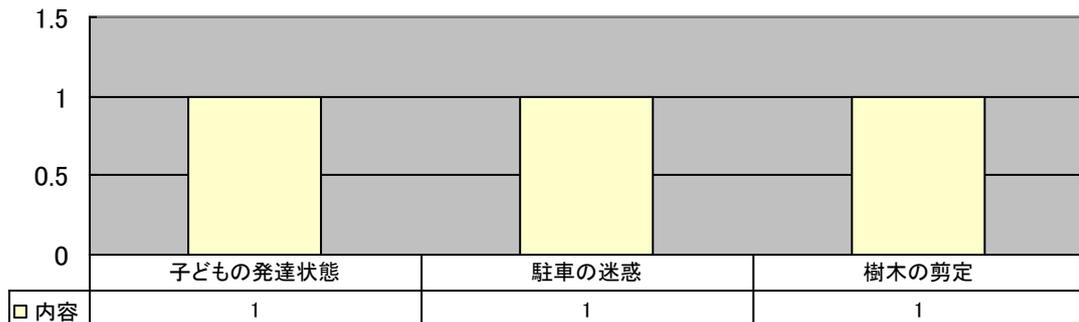
○報告件数・・・・・・ 3件（内苦情2件）



要望分類



主な内容



○まとめ

相談については、子どもの発達が気になるのと家庭内の問題が重なり、相談に来られた。家庭の問題については、踏み込めない部分があるので、子どものことを中心に十分話を聞くようにした。他の2点は、出来るだけ早く対応し、今後の改善策を伝えることで、納得していただけました。

1 3. 《総括》

平成26年に予定していた大規模修繕が前倒しされ、25年度中に終わることが出来た。工事の際には、保護者も地域の方も協力的で、工事関係者の細かい配慮もあり、スムーズに進み感謝している。

今後も、地域と共に歩む兵庫保育園として、地域の方々に積極的にかかわり、信頼関係を深めていくよう努めていきたい。

25年度の保護者向けアンケートでは、どの項目も「満足」「おおむね満足」という結果を頂いたが、結果に甘えるのではなく、特に安全面、保育内容、行事の持ち方などについて検討していきたい。

また、今年度は、長期欠席や、虐待など要支援の家庭が複数あり、保護者支援が職員の重要な任務となった。今後もそれぞれの保護者に寄り添い、保育方針である子ども一人一人を愛情を持って大切に保育していくことを念頭に置き、職員同士が共通理解をもち、保育力を向上させ、よりよい保育を目指して努力していきたい。